Nishitokyo City
西東京市
議会だより
第6号
平成14年5月10日
（2002年）

〒188-8666 西東京市南町5-6-13　0424-64-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会



予算特別委員会の風景

平成14年
第1回
臨時会
第1回
定例会

平成14年度予算を可決

一般会計、特別会計の総額は994億4488万円余に

定例会・臨時会のあらまし

第1回定例会は3月1日から28日までの28日間の会期で開催しました。

市長の施政方針に対する各会派からの代表質問・一般質問は4日間行いました。

今定例会に市長から提出された議案は30件で、「平成14年度西東京市一般会計予算」等12件は予算特別委員会を設置し付託、「西東京市環境基本条例」等18件については各常任委員会、特別委員会に付託して審査を行いました。

その結果、27件を可決、2件を同意、1件を継続審査としました。

皆様から提出された請願・陳情は「天神山交差点交通安全に関する請願」等20件で、継続中の11件を含め審査し、7件を採択、5件を不採択、18件を継続審査とし、1件は取り下げとなりました。

議員提出議案は「准看護師の移行教育の早期実現に関する意見書」等9件で、すべて可決し、8件を関係機関に送付しました。

第1回臨時会は2月13日に開催し、「財産の取得について」（合併記念公園用地の買い入れ）ほか2件の議案が上程され、それぞれ可決・承認しました。

紙面の紹介

・施政方針の概要、代表質問、一般質問……2～5面
・討　論……6面
・平成14年度予算の概要、予算特別委員会の報告、常任委員会に付託された主な議案……7面
・意見書・決議、議案の議決結果一覧、請願・陳情の結果、編集後記……8面

議会日誌（平成14年1月～3月）

1月
7日　議会運営委員会
18日　全員協議会
21日　議会報編集委員会
28日　交通対策特別委員会

2月
4日　駅周辺再開発等特別委員会
5日　公園・緑地整備特別委員会
8日　議会運営委員会
12日　情報化推進等特別委員会
13日　第1回臨時会・本会議、会派代表者会議
19日　交通対策特別委員会
26日　議会運営委員会

3月
1日　第1回定例会・本会議（施政方針、閉会中委員会審査報告、議案等上程～付託）、予算特別委員会、全員協議会
4日　本会議（代表質問）
5日　本会議（代表質問）、議会報編集委員会
6日　本会議（代表質問）
7日　本会議（代表質問・一般質問）
8日　予算特別委員会
11日　予算特別委員会
12日　本会議（委員会審査報告、請願等上程～付託）、議会運営委員会
13日　総務委員会、文教委員会
14日　厚生委員会、建設委員会
15日　公園・緑地整備特別委員会、情報化推進等特別委員会、駅周辺再開発等特別委員会、交通対策特別委員会
18日　予算特別委員会、議会運営委員会
19～20日　予算特別委員会
22日　予算特別委員会
25日　予算特別委員会、議会運営委員会
26日　予算特別委員会
27日　総務委員会
28日　本会議（委員会審査報告～議決、議案等上程～議決）、議会運営委員会、総務委員会、厚生委員会、建設委員会、駅周辺再開発等特別委員会、会派代表者会議

声の議会報をお届けしています。
お知り合いの方でご希望される方がいらっしゃいましたら中央図書館（☎65-0823）へお問い合わせください。

針に対する 一般質問





施政方針の概要

1 新市建設計画の着実な実行と総合計画の策定
- （仮称）合併記念公園の整備
- コミュニティバスの運行
- 地域情報化の推進
- ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの整備

2 市民参加の推進

3 西東京市の行財政改革の取組み

主要な施策

1 地域の中で支えあう福祉のまち
- 基幹型在宅介護支援センターの設置
- ファミリー・サポート・センターの設立
- 病後児保育室の設立
- 子育て支援の充実
- 地域福祉計画等の策定
- 健康づくり推進プランの策定
- 権利擁護センターの設置
- 痴呆性高齢者等グループホームの整備
- 福祉のまちづくりの推進

2 環境にやさしく美しいまち
- （仮称）合併記念公園の整備
- 環境基本計画の策定
- （仮称）リサイクルプラザの建設

3 若者を育てるまち
- 小・中学校の施設整備
- 青嵐中学校校舎建替え
- 西原地区小学校統合事業
- 通級学級の開設
- 小学校給食の食器改善
- 中学校給食の導入に向け検討
- 教育相談機能の充実
- 特色ある教育の実現
- 教育情報センターの整備
- 学校施設開放事業

4 安全で快適なまち
- 都市計画マスタープランの策定
- 都市計画道路の整備
- 市道の整備
- コミュニティバスの運行
- ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進
- 保谷駅南口地区市街地再開発事業
- 庁舎・敷地整備事業
- 地域防災計画等の策定
- 防火貯水槽の設置
- 緊急物資の充実
- 市体育館の建替え

5 さまざまな産業が育つまち
- 地域産業の育成

6 市民が参加する活力あるまち
- 特定非営利活動団体（NPO）等との協働及び支援
- 総合計画の策定
- 地域情報化の推進
- 情報通信技術講習会の推進
- 男女平等の推進
- 女性センターの整備について検討
- （仮称）上向台地区会館の建設
- （仮称）東伏見コミュニティセンターの建設
- 新市誕生記念事業
- 各行政機関との連携

税収入減少の中、住民管理型や民間委託でさらなる行財政改革を

自由民主党西東京市議団

保谷育彦　海老沢進　鈴木久幸　遠藤源太郎　西村誠一　小林たつや　浜野重男　中山寛子

質問 都市基盤整備に取り組んできたが、保3・4・10号線の駐車場の話し合いの時期は過ぎた。法的手段の準備とか何か行動を起こしているのか。田3・4・9号線の進捗状況は。

市長 保3・4・10号線は今後時間がかかる場合、法的措置も視野に入れて対応する。田3・4・9号線は状況が変わり、民地との解決の糸口が見え、全面開通が近い。

質問 ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりで、北口のエスカレーター設置について。

市長 西武鉄道等も、現在エスカレーターをつけることは、非常に困難と言っている。

質問 市道の新設、改良の優先順位はどのように決定するのか。また、その理由を公開できないか。

都市整備部長 西東京市整備要綱に基づいて老朽化が著しい道路等を優先に整備している。今後、計画適用を持った方針を作成して整備する。

質問 高齢化、少子化時代の進行、市民ニーズの多様化で我が国の景気回復は、構造改革をなし遂げても5年から10年かかる。その影響で西東京市の税収も毎年減少が続くので、大胆に市場競争の原理を活用し、ごみ収集事業、文化・スポーツ振興財団、公民館、福祉会館、保育園等は、内容によっては住民管理型や民間委託にする考えはないか。

市長 行財政改革推進委員会の審議で、非常に厳しいご意見があると認識している。厳しく変化する時代状況を的確に機敏に対応する視点で行革大綱づくりに努めたい。民間的な経営感覚の問題であるが、効率的な行政運営を心がけていく。

質問 谷戸せせらぎ公園のプレイリーダー養成事業は、単年度事業で今年度終了するが、都の事業から西東京市が引き継ぐにはどのような体制をとるか。

生涯学習部長 引き続き、窓口となって協力していきたい。

都市整備部長 谷戸せせらぎ公園の管理はボランティア組織で考えていきたい。

質問 合併記念公園に対する市民懇談会の中で、自然を残した大きな広場的なものや、キャンプ場等の意見があるが、その後の進捗状況は。

都市整備部長 懇談会の報告が出た後に行政側で検討委員会を設置し、十分意見を交わし具体的な実施設計に入りたい。

質問 市民に対する職員の対応の悪さについて、その体制づくりは。

市長 市民に不愉快な思いをさせたのは、自覚が足りなかったと思う。これから意識改革、啓蒙活動を通して、職員の育成と職員教育に全力で取り組む。

質問 大雨の際の冠水道路、浸水家屋の実態と対策について。

都市整備部長 溢水は台風や大雨時に40カ所程度発生し、石神井川、白子川の50㎜対策が終わっていない。今年度は白子川、市道た第288号線、北町5丁目周辺の3地域の整備事業を進める。さらに、ひばりが丘4丁目地内、北原2丁目地内の雨水の関係の実施設計、基本設計を進める。他の箇所も今後計画的に進めたい。芝久保2丁目の溢水は浸透性の舗装工事を都にしていただき、市としても対応を進めたい。

質問 公共施設の新システムによる予約サービスは、利用の公平性、効率性を欠き、利用方法を複雑化するだけである。

市長 インターネットによる申し込みで市民の皆さんに公平、有効に利用していただき、可能な限り需要にこたえ善処していく。

質問 循環型社会構築のため、樹木の伐採枝、剪定枝をリサイクルプラザ等で処理、または堆肥化できないか。

市長 計画は必要かと思うが、現時点では困難な問題が数多くあり、早急にはいかない。

情報公開を着実に進めろ！ 統合教育を推進せよ！

無所属　森輝雄

補助金について

質問 補助金の見直しはまだ実現していない。どうなっているのか。

市長 昨年7月に検討部会を設置し、ゼロから見直すように指示している。

部長 間もなく最終答申を行う。複数の基準で評点をつけ、すべての補助金を見直す。補助事業の公表をし、公平性、透明性を図る。15年度予算に反映させたい。

情報公開について

質問 施政方針に情報公開の機能を持たせてはどうか。

市長 すべてを市民の皆さんが知るのは当たり前と考える。手続を図書館で行うことは困難。情報提供だけなら可能だ。

質問 公共工事の現場に施工業者名や契約価格、工事の効果を掲示するべきではないか。

市長 公開に異存はない。いつから行うか検討する。

部長 これまでの掲示に加え、工事の目的、イメージ図等も公開する。

質問 市長交際費をホームページで公開しないか。

市長 現在検討中、時期が来たら行いたい。

質問 不手際、不祥事の新聞報道が目立っている。記者発表と同時に、使った資料をホームページに掲載する考えはあるか。

市長 研究したい。

障害児教育について

質問 障害児の問題では教育分野が一番おくれている。統合教育をどう認識し、どう進めていくのか。

教育長 子どもの権利条約にある、全面的な個人の発達を達成する方法で教育にアクセスする姿が望ましいに触れた部分がない。図書館に情報公開の機能を持たせてはどうか。

市長 すべてを市民の皆さんが知るのは当たり前と考える。手続を図書館で行うことは困難。情報提供だけなら可能だ。

質問 公共工事の現場に施工業者名や契約価格、工事の効果を掲示するべきではないか。

市長 公開に異存はない。いつから行うか検討する。

部長 これまでの掲示に加え、工事の目的、イメージ図等も公開する。

質問 市長交際費をホームページで公開しないか。

市長 現在検討中、時期が来たら行いたい。

質問 不手際、不祥事の新聞報道が目立っている。記者発表と同時に、使った資が財政上は困難。

質問 通級学級など統合教育が必要になる。一定の財政負担、通学介助、教室移動時の介助等、独自施策を進めるべきだ。

教育長 就学決定をしたケースもある。教育委員会と学校、保護者で話し合い、一緒に考えていく中での解決を考えたい。





市長の施政方針に対する代表質問

西東京市を全国に誇れる、他市のモデルとなるようなグレードの高い自治体に！

民主党西東京　石毛茂　二木孝之　桐山ひとみ　蔵野雅章

質問　公共事業の入札制度、すべての希望業者が参加できる希望業者参加型の競争入札へと改革する意欲はあるか。

市長　競争性を高めるため、これから工夫をし、また改善をしていきたい。

質問　特別養護老人ホームの不足をどうするのか。

市長　13施設、440ベッドを確保している。新規整備が必要となるが、早急な対応は非常に困難。

質問　田無駅北口再開発にかかわる㈱アスタ西東京について、選挙前「住専問題と同じ。責任を追及していく」とした市長の姿勢は。

市長　私が今知り得た経営状態は、良好であるということ。そのことは報告をさせていただきたいと思う。

意見　市長は、市民への説明責任を果たしていない。

質問　健康づくり推進プランの策定に当たる進捗状況、一次予防対策事業の、14年度の計画は。

保健福祉部長　健康づくり推進プラン、14年度は計画づくりに着手。市民意向の基礎データ、厚生労働省の「健康日本21」、母子保健をベースにした「健やか親子21」「東京都健康推進プラン」、この辺が当然ベースになる。

　基本健康診査事業は、本年度からB・C型肝炎ウイルス検査を含んだ形で充実。集団・個人の選択制、40歳から69歳ということで、新たに取り入れたい。一次予防等の取り組み、具体的にはフォローアップ事業等、昨年より充実した。

質問　4月よりスポーツ振興課を新たに独立させる理由は。

教育長　課に独立させてスタッフを強化、スポーツの振興、子どもたちの受け皿づくりを考えている。独立させて、スポーツ振興についての総合的なものを行政ではっきり出す。財団、体育団体をどう役割分担するか、その辺もスポーツ振興課を中心に進めていきたい。

質問　昨年、信頼すべき戸籍や住民票が見ず知らずの他人によっていとも簡単に変えられてしまう事件があった。当市での対応は。

市民生活部長　現段階ではまだ検討していない。市民課でできている協議会等で協議をしていく。

質問　下野谷縄文遺跡の保存活動・活用を求める陳情が出ている。遺構や遺物を市内に持ってきて、身近なところで展示してほしい。青森・三内丸山遺跡並みの超大型拠点的集落でもあるようで、国内5指にも数えられるという話もある。信頼ある人に調査をしてほしい。

市長　我々人類の遺産だ。市民の皆さんの意見を聞いて、あそこをどう生かしていくかということで取り組んでいきたい。

質問　横断歩道が歩道橋の下に復活したり、撤去されたりする例が最近ふえてきた。こうした動きに対してどのように考えるか。

都市整備部長　今後は新設等する場合については、福祉のまちづくり条例に基づいて整備する必要があるのではないかと考えている。

市長はまちづくりの方針を示せ　教育長は市民の声を聞け

市民の会　土井節子　安岡厚子

　施政方針は、具体的事業の説明のみで、保谷高範市長の政治理念やまちづくりのビジョンが見えない。施政方針にはみずからのビジョンを示すべきだ。

入札改革を断行せよ

質問　政治改革の究極は、利権政治をなくすための入札制度改革だ。予定価格の公表、一般競争入札の拡大、入札結果の公表等、透明性、公平性を図るべきと提案してきたがどうか。

答弁　予定価格を公表し、入札結果をホームページで公開する。一般競争入札枠を拡大する。

コミュニティバスルート

質問　現在予定されているバスルートは最善のルートとは言えない。市民懇談会でも異論が出ている。第3ルートは見直しすべきではないか。スタート時点でのルート設定が重要だ。

答弁　14年度に利用者実態調査と市民アンケートを実施し、見直しをする。

リサイクルプラザ

質問　合併直前に旧保谷市で買ったリサイクルプラザ用地の利用方法を問う。容リ法のためのストックヤードはどこに建設するのか。7億円もかけるリサイクルプラザ計画は見直せ。

答弁　啓蒙活動のためにプラザ用地を買った。ストックヤードはここに建設できない、別途に探す。リサイクルプラザは必要と思う。

高齢者の見守り制度を

質問　西原団地で悲しい事件が起きた。今後高齢者世帯は確実にふえる。地域の相談業務を担う在宅介護支援センターを活用しお年寄りの見守り制度をつくれ。

答弁　指摘を踏まえて十分検討する。

通学区域自由化は慎重に

質問　通学区域自由化は、保護者が自由に学校を選べるというメリットはあるが、学校間格差ができ、序列化する危惧がある。住民参加での議論が必要だ。市民の意見は聞くのか。

答弁　庁内報告を受けて、専門家、保護者、先生、地域住民による懇談会に諮る。オープンに議論する。

中学校給食試行とは

質問　弁当注文による中学校給食を2校で試行実施とあるが、結果により他の方法も検討するのか。親や子どもの声は聞いたのか。費用対効果も公表すべきだ。

答弁　2校実施後、子ども、保護者、学校の意見を踏まえて今後判断。給食運営協議会に試行内容を諮問する。

子どもの未来に　安心なまち・西東京市を　市民参加でつくろう！

生活者ネットワーク　茂木千佳子　渡辺嘉津子　森下典子

公共施設の見直しについて

質問　既存施設の有効活用を図るため、早急に公共施設の適正配置計画を策定せよ。

企画部長　今年度は余剰教室や施設の実態調査を行い、施設診断表を策定する。この基礎資料をもとに適正配置計画を総合計画に反映させる。

NPOとの協働について

質問　指針づくりには市民団体等の実態調査が必要。職員の内部啓発も含めPR・パンフレットを作成せよ。

市民生活部長　本市のNPO法人は18団体で、現在関係団体にアンケート調査を実施している。各種団体のPR・パンフは、今年度設置の協働推進懇談会の中で検討する。

教育基本法と子どもの権利条約を尊重した学校教育を

質問　いじめや暴力から身を守る権利を学ぶCAPを学校教育に位置づけよ。

教育長　PTAで実施しているところもあり、学校と協議する。

質問　学校給食の安全基準を、中学校給食を開始する前に定めよ。

学校教育部長　昨今の状況を見ると大変大事なことで、給食研究会で基準づくりをしたい。

質問　夏季プールでの障がい児の介助員配置を求める。

教育長　指導員の枠を弾力的に運営する中で考える。

学童クラブの待機児解消を

質問　向台学童クラブは定数の1.6倍の申し込みである。全員入所の対策は。

市長　第二学童クラブの新設は必須。同学区内に新設することを含め、早急に検討し対応を図る。

児童青少年部長　向台学童クラブは従来の児童の出席率から見て全員受け入れは可能。安全保育として必要な補助員をつけるなど万全を期す。

障がい者センターと就労支援について

質問　知的精神障がい者の就労・生活支援の機能が不足である。新たな障がい者福祉センター構想を伺う。

保健福祉部長　向こう10年間の養護学校卒業生が200人の予定で、ジョブコーチ制度を含めた就労支援、生活支援について障がい者プランの策定で方針を出す。

資源循環型まちづくりを

質問　容器包装リサイクルの実現のためストックヤードの確保を求める。

市長　現在3カ所を検討している。

化学物質子どもガイドラインの策定を

質問　子どもが使う公共施設の有害化学物質の現状把握と対策を求める。

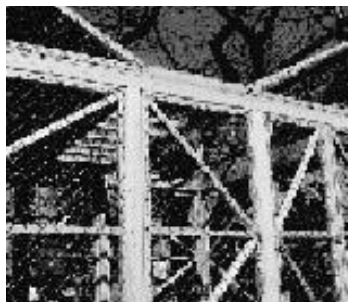
教育長　検査を毎年1回行う。シックスクール症候群等の子どもの調査を行う。

・公共施設予約システムは、市民合意を得て始めよ

・農業振興プランについて

方針に対する
一般質問





市民との協働で 魅力と活力あふれる 西東京市の建設を
西東京市議会公明党

新井五郎　岩越笙子　衣袋一夫　高橋司朗　佐々木順一　鈴木宏一　麦倉一眞　田崎敏男

質問 西東京市として2年目に入った。合併効果や市民の方の窓口評価、今後の財政と政策課題等、目に見えた形で示すべきと思うが。

答弁 平成14年度は新市建設計画の基本理念の実現に向け総事業費96億円、39の事業を進めていく。さらに合併効果として、議員を初め特別職の削減や消防委託費の減などがある。3月23日からコミュニティバスが姿を見せると大きな効果が出ると思う。子ども議会の質問と答弁は今も私の机の中にある。21世紀を担う子どもの考え方を宝物としていきたい。子ども議会は今後も継続していきたい。窓口の評価は、昨年行った市民意識調査では「満足・やや満足」が50・9％、「やや不満・不満」が30・2％だった。市税徴収率の拡大については、納税秩序の確立と税負担の公平の実現を基本として取り組む。西東京市総合計画は、策定審議会より平成15年度に答申をいただく予定。

質問 地域福祉計画、高齢社会の対応、子育て支援、痴呆性グループホームの建設、そして基幹型介護支援センターの建設を進めよ。

答弁 介護保険に移動するなど、地域型の高齢者の支援センターを充実させることは大事だ。基幹型介護支援センターは平成14年10月の開設を予定している。開設時期は明言できないが、ともに市の直営型で運営していきたい。地域福祉計画は保健福祉の総合的な計画と位置づける。痴呆性グループホームは市内の社会福祉法人やNPOを市が補助する形で運営する予定。保育園・児童館の耐震診断は、他の事業が犠牲になっても優先的に進める。乳幼児健診時のブックスタートは検討していく。千駄山都営跡地のスポーツ公園化は都に相談してみたい。市体育館の建てかえについては、要望を十分加味していく。

質問 男女平等参画計画、屋上緑化、リサイクルプラザの建設、カラス対策、街区表示板の張りかえなどの現状と対策を聞く。

答弁 男女平等参画計画は16年度の実施を目途に計画案の検討をする。屋上緑化はヒートアイランド現象の防止策に有効な手段だと考える。ごみのことを真剣に考えていただく意味でリサイクルプラザの建設を進める。カラス対策は都が1月に芝久保浄水所に保護トラップを設置した。効果を確認したい。街区表示板は13年度が864街区の設置、14年度ですべて終わる。

質問 地域防災計画、市民防災組織、防災設備等の強化と、ITと地域情報、電子投票について。

答弁 地域防災計画は防災会議を立ち上げ検討する。環境基本計画の策定は、今定例会で環境基本条例が通った後に進める予定。市民防災組織は現在54団体。倍増を目指す。防火貯水槽や倉庫の拡大に努める。公共施設予約システムは血の通う温かみのある方法ができればよいと思う。電子投票は機器が高価で保存場所が必要だが検討していく。SOHO（スモールオフィス・ホームオフィス）や電子入札、PFI（民間資金の活用）も検討していく。

質問 西原第二小学校の跡地利用、中学校給食、少人数学級、週5日制、文化財の発掘と保護、青嵐中の建てかえ、通学路の点検、学校トイレの改修について。

答弁 跡地利用は教育委員会内部で検討中。平成15年上半期には一定の結論を出したい。中学校給食はデリバリー方式で2校を試験的に実施できるよう進めている。少人数学級は国・都の動向を見ながら検討していく。学校5日制の受け皿づくりは早急に手を打ちたい。教室へのエアコンは難しいが、小学校低学年の教室には扇風機をつけられないか考える。文化財はできれば市の財産として保存したい。青嵐中の建てかえは前倒しで計画する予定。通学路は学校ごとの点検をする。トイレの改修は大規模改修のときや耐震補強のときに検討する。

税金は住民生活を応援する 使い方に切りかえ、 商店街、中小企業の 支援対策を
日本共産党西東京市議団

葉原時美　大川真理　保谷清子　朝倉文男　高梨功　倉根康雄　安斉慎一郎　武藤朝子

質問 施政方針の柱は、公共事業の推進だが、保谷・ひばりヶ丘駅南口の再開発は、その内容、市財政の使われ方など順次情報公開し、課題を住民に明らかにせよ。

市の借金が700億円、だれが払うのか

質問 施政方針の柱は、公共事業の推進だが、保谷・ひばりヶ丘駅南口の再開発は、その内容、市財政の使われ方など順次情報公開し、課題を住民に明らかにせよ。

市長 保谷駅南口は、かえで通りの拡幅が先決であり、14年度に仮事務所をつくりスタートさせたい。

ひばりヶ丘駅南口は、商業、住宅、公共施設を配置した市街地整備を促進させたい。

電子市役所は、メリットがたくさんある。市民講習等で、情報化に乗りおくれないように目指したい。

住民参加は形式的なものか

質問 施政方針の柱は、市民参加の推進だが、住民には当然の権利だ。

ごみの収集回数を減らす問題やリサイクルプラザ問題等で、市長の言う市民参加に疑念が出されている。市民の意見と市長の意見が違う場合はどうするのか。

市長 市民の意見が反映できない部分は、その理由を公開し、市民の理解を得る努力をする。

施政方針の柱は雇用、福祉、教育、商工振興ではないか

質問 市は、福祉、教育、道路、清掃等の部門で雇用を計画的に進めよ。

市長 限界があるが、雇用の拡大に努めたい。

質問 子育て支援が求められている。

北原・住吉・ひばりが丘児童館等の建てかえを具体化せよ。

特に、向台学童クラブは、第二学童をつくれ。

市長 建設後20年以上経過した施設を検査、耐震調査を含め改修を行いたい。

質問 痴呆の早期検診を位置づけ、脳リハビリ対策を急げ。介護保険の利用料が高いため、サービスの利用を抑える等の問題がある。高齢者福祉を充実せよ。

知的障害者は、就労の機会が困難だ。世田谷区のようなセンターをつくれ。

市長 痴呆の状況をいかに早くキャッチするかがポイントだ。対応したい。10月1日に直営の基幹型支援センターをオープンさせる。障害者の生活、就労を支援するセンターに努力したい。

保健福祉部長 知的障害者の就労は、先駆的事例を参考に検討する。当面、障害者プランを策定し、計画的な行政を進める。

また、電子市役所づくりを急いでいる。だれのためか、今でも10億円経費がかかっている。慎重に考えよ。

市長 統一に向けては、慎重に検討する。

市長 保谷町5丁目に1千中学校給食は市の責任で、青嵐中の建てかえを早めよ

質問 試行する中学給食のデリバリー方式は、弁当を販売するだけか。教育との関連はどこにあるのか。青嵐中の建てかえは、特別な対応をとり、16年度建設を。

教育長 業者がつくった弁当を食べることだ。行政が責任を担う場を確保したい。青嵐中の建てかえは、14～16年で準備、17～18年度で建設する。

通学区域の自由化は市民の意見を慎重に聞け

質問 市内小中学校の通学区域を自由にすることは、学校同士を競わせ、学校統廃合につながるが、何の目的で行うのか。来年度の実施に向け急いでいるが、教育のあり方や市民参加からも許せない。

教育長 合併に伴う地域でやったから、違和感はない。

中小建設業5％助成を含め振興計画をつくれ

質問 地域経済の深刻さは、個人消費を冷え込ませているからだ。敬老金の70歳全員支給に復活させる生活支援と商工業の振興プランを具体化せよ。

市長 敬老金は、現行のまま、関係者が積極的にやってほしい。

大型道路より生活道路と歩道の整備を急げ

質問 幅36m道路は、総額幾らかかるのか。分断する市道は何本あるのか。市民の要望は地域の市道を広げ、歩道を整備することだ。

市長 危険な箇所は緊急に整備する。都市計画道路整備に伴う市道整備をする。

都市整備部長 909億円の全体事業費だ。分断される道路は、36本の生活道路。

質問 この4月より新学習







市長の施政方針に対する代表質問・一般質問

新市誕生2年目は

市民一人ひとりが、合併効果を実感できるまちづくりを目指せ

市民クラブ

林　一夫　酒井　澄　浅野　高司　植田井文直　猪野　滋　渡部保男　野村俊介　小島恵子

新市が誕生して2年目のスタートとなる。

自治体を取り巻く厳しい社会・経済情勢のもと、合併初年度の到達点と課題を踏まえ、西東京市18万市民に合併効果を具体的に示すことが求められる。

その立場から質問する。

質問 新市建設計画の到達点と課題についてどう認識しているか。総合計画との関係はどうか。

市長 10カ年の事業として着実に進められている。総合計画は新市建設計画との整合性を図っていく。

質問 合併によりレベルアップした事業を示せ。

「サービスは高い方に、負担は低い方に合わせる」とする原則は守られたか。

市長 ほとんどの事業はレベルアップした。高水準のサービスを維持したい。

質問 両庁舎利用の非効率改善に向けて、市民利用の重に対応したい。

質問 容器リサイクル法に基づいた「その他プラスチック」の収集リサイクルシステムを早急に確立する必要がある。ストックヤードの確保の見通しはどうか。

市長 モデル地域を指定して、容リ法に対応する準備を始めたい。

質問 リサイクルプラザについての重要性、必要性が理解できない。市民ニーズの観点から検討し、見直す考えはないか。

市長 旧保谷市から引き継がれた事業だが、推進に向け努力したい。

質問 現在、市有地で未利用地はあるか。

市長 ITの活用など、創意工夫をし、努力したい。

質問 財政見通しについて示せ。今後の地方交付税の歳入見通しはどうか。

市長 良質な財源を最大限活用し、基幹収入の落ち込みをカバーする。

質問 住民基本台帳ネットワークシステムは本年8月稼動予定だが、個人情報の保護についてどのような取り組みを行うのか。

市長 セキュリティーについては万全の体制をとる。

質問 「ごみ収集方法の統一について」市民の意見を聞く会を開催している。

市民の理解は得られたか。今後のスケジュールを示せ。

市民の利用しやすい庁舎を目指し1市2制度の解消を急げ！

自民自由クラブ

林　一夫　酒井　澄　浅野　高司　植田井文直　猪野　滋　渡部保男　野村俊介　小島恵子

市民会館（田無町4丁目）が休館日にもかかわらず不法に貸し出されていた問題

質問 市民会館の地下体育館が休館日に特定団体に不法に貸し出されていたこと は、条例を当時の市長が提案し、議会で承認しておきながら、30数年間守られていなかったという大問題である。助役の考えを伺う。

助役 昨年6月に平成14年3月末をもって是正する方針でいたが、当該団体からの強い要請もあり、早急に是正すべきだとの認識を踏まえ当面の継続使用とした。

質問 新聞報道によれば「旧田無市は市長決裁を受けた許可証をこの団体に発行し、休館日の利用をこの団体に認めてきた」とあるが、事実とすれば不法使用になりかねない。利用料・電気代・水道代の扱い等を含め今後どう措置するつもりか。

助役 来週の火曜日以降の利用は控えていただく。

新市建設計画の見直しを

質問 けやき小学校の建設等、現実に予算額の変更も起きている、見直すべきだ。

市長 方向性に大きな変更があれば見直しもあり得る。

1市2制度について

質問 事務処理でまだ2制度あると聞くが、その対応は。

助役 実情を把握し取り組む。

アスタ西東京問題について

質問 ①2億9千万円の追加投入がなければどうなっていたか②9億円余の回収の開始は③今後、資本投入はやめよ。

市長 ①経営上厳しい②早くても平成23年から③現状では投入不可能と思う。

市バス路線を早急に見直せ

質問 最寄駅をルートに入れた路線の全体計画を示せ。

都市整備部長 ご指摘の内容を視野に入れ検討したい。

消防分団について

質問 ①緊急対応のレベル維持のためにも出動区域を広げよ②火災発生の連絡をポケベルで全分団員にしているが、出動区域外の団員への連絡（深夜もある）は非効率で、やめるべきだ。

環境防災部長 ①出動区域は見直していく②正副分団長会議の意見も聞きながら変更を考えたい。

駅のエレベーター等を急げ

質問 西武との覚書は。

都市整備部長 国の補助基準の内示後の協議となる。

要望 農業振興計画策定には、思い切ったプランを入れよ。・田3・4・9号線の全通を急げ。・奨学金は希望者全員に支給を。

市長 余裕教室ができれば使用したい。

教育長 十分に考えられる課題で、地域に還元できる。

青嵐中学校早期建てかえを

質問 地元関係者、学校関係者の期待も大である。懸案事項、民地の問題等を踏まえ、文科省とかけ合い、一年でも早い建てかえを望む。

教育長 14年度から準備、800㎡の公共用地がある。20年前に保育園用地として購入している。

質問 保谷駅南口再開発事業の見通しについて。

市長 大方の地権者に再開発はご賛同いただいており、現時点ではそれほど危惧する問題はない。

質問 学童クラブ職員が新年度より嘱託員に切りかえられるが不安はないか。

児童青少年部長 嘱託員3名体制で運営していくことで一定の理解を得られている。

質問 下野谷遺跡についての評価と今後の予定は。

市長 歴史的価値のある遺跡だけに、土地の購入に向け努力したい。

市長 幹部職員の勤務評定の導入について

質問 御殿場市では試験制度だけで役職を決めるのではなく、従来の一般的な勤務評定に加えて係長が課長、課長が部長を評価する。そして役職者自身の自己評定もみずから加える制度であり、管理職としての責任と行動を認識することができ、市長も人事異動では適材適所の実現や管理職に的確な指示が出せる成果があったということである。市長の考えを聞きたい。

答弁 思い切った提案であり、検討してみたい。

少子高齢化に向け、小中学校の余裕教室を福祉施設に活用できないか

質問 余裕教室をデイケアセンターに利用している市もあり、お年寄りと子どもたちの触れ合いの場ができ、教育上も大変いいと聞いている。市長・教育長の見解は。

市長 ITの活用など、創意工夫をし、努力したい。

質問 財政見通しについて示せ。今後の地方交付税の歳入見通しはどうか。

市長 良質な財源を最大限活用し、基幹収入の落ち込みをカバーする。

質問 住民基本台帳ネットワークシステムは本年8月稼動予定だが、個人情報の保護についてどのような取り組みを行うのか。

市長 セキュリティーについては万全の体制をとる。

質問 「ごみ収集方法の統一について」市民の意見を聞く会を開催している。

市民の理解は得られたか。今後のスケジュールを示せ。

合併2年目に入っての西東京市のまちづくりは!!

無所属

浅野　高司

市長 余裕教室ができれば使用したい。

教育長 十分に考えられる課題で、地域に還元できる。

青嵐中学校早期建てかえを

質問 地元関係者、学校関係者の期待も大である。懸案事項、民地の問題等を踏まえ、文科省とかけ合い、一年でも早い建てかえを望む。

教育長 14年度から準備、17～18年建設、19年開校に向けて努力したい。

保谷駅周辺まちづくりと都市計画道路の今後について

質問 南口は駅前開発が進んでいるが、東伏見から保谷に向かう一部でまだ完成していない。また、北口の駅広を含めたまちづくりはどう進んでいくのか。

市長 南口の道路の拡張が進まなければ再開発は不可能、都に要望していく。

北口は地元の意見を取り入れ、民間活力の誘導を図っていく。

調布保谷線について

質問 現在、土地買収が進んでいる。通過道路にせず、商業・農業振興のために「道の駅」を都に検討してほしい。

市長 十分考えられる。ヒントをいただき感謝する。

用語の解説

ジョブコーチ制度

障害者が就労するときにさまざまな障害があるが、手助けをすれば作業が円滑に進むと判断されるときに手助けをするもの。

SOHO

（スモールオフィス・ホームオフィス）

社員が数人の小規模事務所や、自宅を事務所にする在宅勤務者などの総称。

PFI

従来、公共部門が実施していた社会資本整備などの公共サービスを民間部門の資金を導入して、民間事業者を中心に実施する方式。

ISO14001制度

環境に配慮した事業活動を行うための基準を国際的に規格化したもの。

プロポーザル方式

設計業者を決定するために、複数の業者に原案を提出させ説明を受けた上で決める方式。

一般会計予算に対する 討論

反対

福祉・教育に冷たく 開発優先だ
日本共産党西東京市議団
安斉　慎一郎

西武鉄道各駅へのエスカレーター・エレベーター設置補助、小中学校校舎耐震補強工事など市民要求に沿ったものは当然で評価する。しかし①合併記念公園用地買収費は縮小すべきだ。②保谷駅南口再開発は、出店予定の西友が世界最大スーパーに吸収される。田無駅北口再開発の失敗を教訓にし、再検討すべきだ。③介護保険の市独自の負担軽減、市立保育園の増設、児童館・学童クラブの増設、学校図書館専門員の増員、市内商工業者対策の増額が計上されていない。④公共施設予約システムや中学校「給食」の試行などでは市民参加・市民合意が不十分だ。⑤合併記念公園用地の価格の決め方や西東京市教育目標から「憲法と教育基本法の精神に基づき」の文言の削除は国・東京都の言いなりだ。

張りぼて予算！ モザイク予算！
無所属
森　輝雄

財源不足を基金の取り崩しと借金で補った張りぼて予算。市長としての将来ビジョンを出さず、あちこちの事業の総和で将来の市の形が決まるような進め方は無責任だ。

補助金をゼロから見直すことは評価するが、補助金の内容把握が行われていない。75億5千万円の補助金のそれぞれが妥当な支出か確信が持てない。

11月から始まったプラスチック焼却は客観的根拠のないその報告に基づいて行われており、うそつき行政ではないか。それを改めようという姿勢がこの予算にはない。

保谷駅南口再開発は構想が具体的な部分で明らかでなく、見切り発車で納得できない。

理念なき事業のみのモザイク予算だ。事業規模を縮小し、まず、まちづくり計画を示すべきだ。

賛成

市民負託に応え 更なる市民融和を
自由民主党西東京市議団
小林　たつや

21世紀初の都市型対等合併をした我が西東京市の平成14年度予算は、598億5千800700万円で前年度比7億8千万円の増となっており、近隣市が軒並み緊縮財政をとる中、合併効果も相まって、恵まれた予算編成と言える。本年度の施策は新市建設計画の「（仮称）合併記念公園の整備」、「コミュニティバスの運行」、「地域情報化の推進」等の4大事業を含む合計39事業が予定されており、おおむね現在の市民ニーズから見ても適正な予算編成と言える。しかし、「公共施設予約管理システム」の開始等については市民説明会の段階から諸問題が噴出し、「だれのための施策なのか」という、行政としての心配りが足りないのではと言わざるを得ない。今後も旧市の歴史と伝統を受け継ぎ、21世紀を先導する自治体となることを強く希望する。

シビアな財政計画を 市長に求める
生活者ネットワーク
茂木　千佳子

構造的な経済不況により、市税収入の下落が続いている。本市においても財政の健全さを示す経常収支比率が本予算で％％　4％の弾力性しかない。新市建設計画の都市基盤整備事業等、合併でシミュレーションした218名の退職金も今後予定していく必要がある。

市長もこの現状を厳しく把握し、西東京市でのまちづくりのあるべき姿をみずから示す必要がある。

ネットは、地方分権時代は、市民と市が対等の立場で協働するためのシステムを、今から構築していくことが本来あるべき行財政改革であると提案している。

地域での身近なサービスは、地域の人たちがボランティアやNPO等で働く。この活動を側面から支援していくことにより、市民が豊かに生活できる仕組みを市民とともに考案していく市政を求める。

公共予約システムの 導入が争点！
民主党西東京
桐山　ひとみ

主な歳入は市税及び地方交付税。個人市民税、法人税は不況下によるリストラや企業倒産により減収が避けられないと予測される。地方分権の時代といっても、地方自治体の財政は国の政策によって大きく左右され、自治体の歳入構造は硬直化している。本市においても、合併後の財政力強化の観点から、財源の確保と行財政改革を進めるべきである。歳出では、公共予約システムの導入の延期、学童クラブの待機児解消、障害児の受け入れ、こどもの発達支援センターの早期建設、（仮）リサイクルプラザの変更、はなバスにシルバーパス使用許可、女性センターの早期設置、文化・スポーツ振興財団の積極的活用など多岐にわたる指摘と要望をした。評価する点は、女性相談の新設、健康づくり予防予算の大幅増額等により賛成する。

福祉施策評価、 市民参加チェック
市民の会
安岡　厚子

本予算は合併2年目の初めての通年予算である。法人市民税が24％減で2年連続の市税減収により厳しい財政状況である。基幹型在宅介護支援センター、痴呆性高齢者グループホーム、権利擁護センター、女性相談窓口、環境基本条例、病後児保育室の増設などの施策を評価し賛成とする。市民参加の視点から①公共施設予約システムは、十分な試行期間をとり、紙での申し込みを併用すべきである②コミュニティバスのルートの検証を早目にすること③学校選択制や中学校給食については慎重に市民合意を形成すること④向台第二学童クラブの平成15年4月のオープンへ向け準備すること⑤保谷駅南口再開発事業はキーテナントの確保と保留床の処分計画を調査検討すること⑥全庁的に進めるべく女性課を設置すべきことを指摘し賛成とする。

計画事業が 適切に予算化
市民クラブ
猪野　滋

市民クラブとして予算を評価する視点は「合併の公約ともいうべき新市建設計画が適切に事業化されているか」「合併協議会での協議結果が守られているか」「これら見直しに当たっては事前に議会、市民との合意が形成されているか」との基準から、合併効果を具体的に示し、多様化する市民ニーズにこたえ、財源の裏づけが確保された予算であるかどうかで判断する。

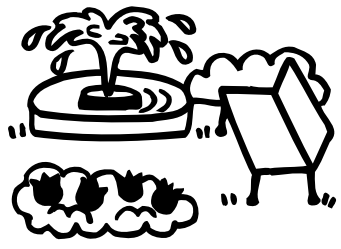
本予算は、新市建設計画の事業実施に当たって39事業、合併特例債は約60億円活用されており、合併したことによって生み出された財源の有効活用がなされるものとして、市民クラブは14年度予算に賛成する。

なお、今後の予算編成に当たっては、国の地方財政計画も見直しを迫られており、中・長期的な歳入見通しも含め、慎重な対応をされることを提言する。

市民参加で新市計画 の着実な推進
西東京市議会公明党
鈴木　宏一

本予算は、合併2年目の新市建設計画の4大事業を中心として、具体的事業に着手する本格的な予算である。福祉では基幹型在宅サービスセンターの設置、痴呆性高齢者等グループホームの整備、ひばりヶ丘駅、柳沢駅、東伏見駅のバリアフリー化の事業化、教育では、小中学校の大規模改修、耐震補強工事や施設整備、中学校給食の導入に向けた2校のモデル実施、けやき小学校の建設、青嵐中学校建てかえに向けて協議会の設置等、ソフト・ハード両面でバランスのとれた予算であり高く評価する。

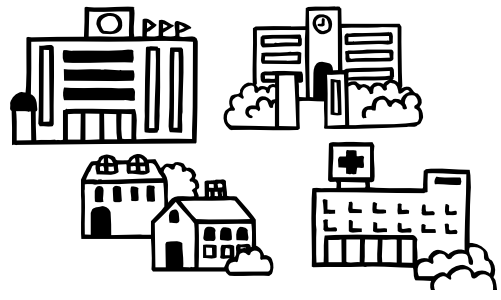
市長に2つの提言をしたい。①執行体制の検証と組織の総点検を早急に行い、事業執行体制の確立強化を図る必要がある。②新市建設計画の再検証を早急に実施し、検討課題になっているソフト事業の施策について議論する必要がある。



真の西東京市実現に 全力を尽くせ
自民自由クラブ
林　一夫

平成14年度の予算案は、合併後初めて市長みずからが編成する本格予算のはずである。私は代表質問の中で市長の施政方針についての評価は合格点ぎりぎりであると述べたが、予算編成時の積み上げ方式を重視し過ぎたため、市長の基本的考え方が十分に反映されているとは思えない。

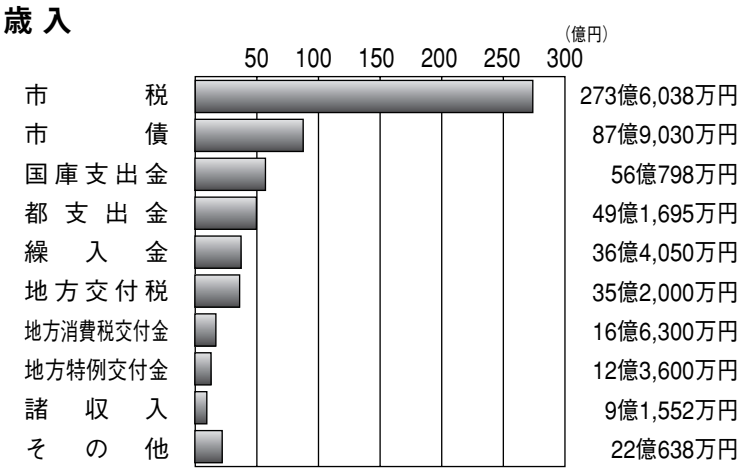
昨年度発覚した田無シルバー、コール田無、アスタ西東京、国保料特別徴収の件、国保の不納欠損処理、中小企業退職金特別会計、事務処理の不統一など、多くの問題が完全に解決していない。また、田無庁舎増築問題など新市建設計画のローリングもまだ処理されていない。市長はこういった諸問題の解決に全力を尽くし、14年度予算の着実な実行と点検を行い、真の西東京市を発展させるために、政治力を発揮することを強く望む。



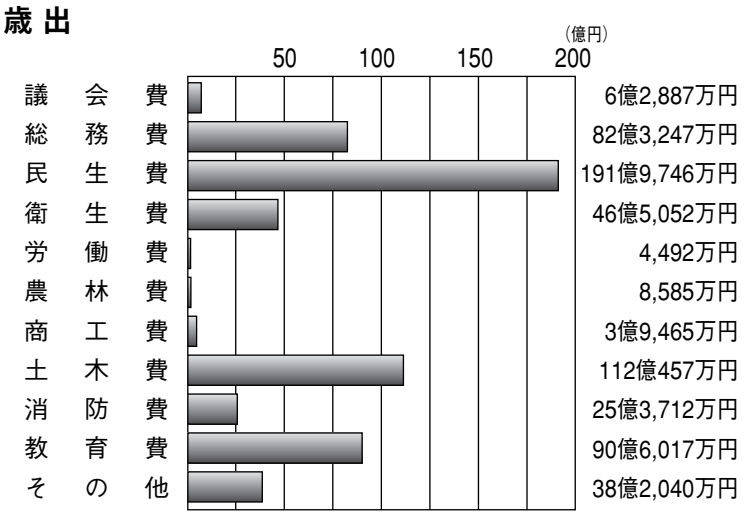
平成14年度予算の概要

一般会計　総額598億5,700万円（1.3%増）

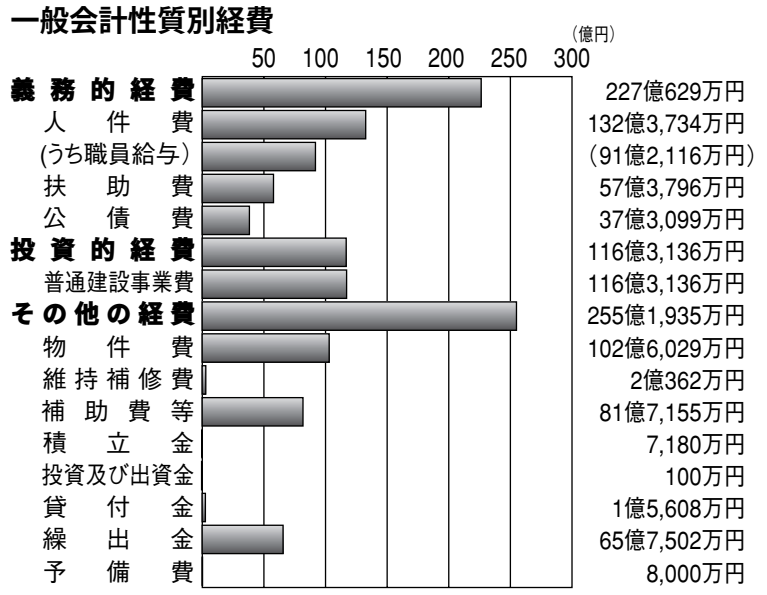
歳入



歳出



一般会計性質別経費



特別会計　総額　395億8,789万円（2.2%増）

区　分	予算額	伸び率
国民健康保険特別会計	121億6,700万円	1.0％
下水道事業特別会計	46億6,073万円	0.0％
受託水道事業特別会計	19億1,405万円	－4.0％
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計	1億3,935万円	0.7％
老人保健（医療）特別会計	139億5,186万円	2.0％
駐車場事業特別会計	2億72万円	－11.6％
介護保険特別会計	65億5,418万円	9.6％

（注）各予算額は1万円未満を四捨五入しています。

予算特別委員会の報告

主な質疑・回答

◇一般会計予算（賛成多数・可決）

5月スタートの公共施設予約システム、もっと周知期間をとれないか

強行することは決して本意ではない。対応は真摯に検討したい。

介護保険のボーダーラインの方が2千名いる。施策は

介護保険制度と高齢者福祉計画との調和のとれた一体的な計画を進めたい。

ごみ収集の統一はいつか

15年度からの対応になる。

ISO14001の職員の意識改革は

14年度に推進本部を設置、庁内体制の整備を図り、全職員に対して研修を行う。

障害者支援費支給制度はどのようなものか

3人の職員を常駐配置して情報収集したい。

農業に携わる若者がいなくなってきた。体験農業等、バックアップして続けていくことで、環境問題にも結びついていく。力強く国にも具申してほしい

東京都市長会としても農家の緑ということを表に出して意見を取り上げている。

中学校給食、400円で成長期の子どもの栄養がとれるか。中学生等に説明、アンケートは

市の栄養士も関与しチェックしていく。アンケート、説明は考えていない。

通学区域の見直しは、父母の意見を取り入れて十分な論議をしてほしい

弾力的に運用し、子どもたちが行きたい学校に通えるようにすることが主眼だ。

教育目標と基本方針については、教育基本法、憲法は今までどおり最初に掲げるべきだ

14年度の目標として、より具体的なものを掲げた。

合併公園の実施設計入札は、プロポーザル方式で、内容については競争できるだろうが、金額的な競争は確保できないのでは

リサイクルプラザについては、コンセプト、考え方、費用対効果からもわからない。検討せよ

男女平等施策を進めていくために、女性課の設置を

◇国民健康保険特別会計予算
◇下水道事業特別会計予算
◇一般会計補正予算（第3号）
◇中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算

（以上、賛成多数で可決）

◇受託水道事業特別会計予算
◇老人保健（医療）特別会計予算
◇駐車場事業特別会計予算
◇介護保険特別会計予算
◇国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
◇下水道事業特別会計補正予算（第2号）
◇受託水道事業特別会計補正予算（第1号）

（以上、賛成全員で可決）

予算特別委員

（◎委員長　○副委員長）

◎麦倉　一眞　○大川　真理
保谷　清子　桐山ひとみ
森　輝雄　渡辺嘉津子
森下　典子　岩越　笙子
猪野　滋　朝倉　文男
安岡　厚子　新井　五郎
渡部　保男　相馬　和弘
酒井　澄　遠藤源太郎
小林たつや　佐々木順一
鈴木　宏一　安斉慎一郎
武藤　朝子　石毛　茂
浅野　髙司　保谷　育彦
中山　寛子

常任委員会に付託された主な議案

総務委員会

議案5件の審査をしました。

◇西東京市市民参加条例……（継続審査）

市民参加の基本原則を定め、市民と市の役割を明らかにし、市民参加の手法を規定することによって市民と市の協働により、地方分権時代にふさわしいまちづくりを推進することを目的として制定するものです。

文教委員会

議案2件の審査をしました。

◇西東京市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例……（可決）

公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する法律の一部改正に伴い、市が行うこととなる学校医等の公務災害補償に関し必要な事項を定めるものです。

厚生委員会

議案4件の審査をしました。

◇西東京市男女平等参画推進委員会条例……（可決）

西東京市における男女平等参画のあり方を検討し、男女平等参画社会の形成に寄与するため、男女平等参画推進計画の策定及び施策の推進に関する調査審議等を行う男女平等参画推進委員会を設置するものです。

建設委員会

議案4件の審査をしました。

◇西東京市環境基本条例……（可決）

西東京市における環境の保全等の施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境保全等に関する基本理念、市・事業者・市民の責務、環境基本計画の策定、市が講ずる環境施策、地球環境の保全への協力、環境審議会の設置等を定めるものです。

訃報

小島恵子 議員　逝去

小島議員は、病気療養中のところ、平成14年4月24日逝去されました。71歳



同氏は、昭和58年5月に旧田無市議会議員に初当選され、以来、総務委員会委員長、文教厚生委員会副委員長、議会運営委員会委員長等、数多くの要職を歴任されました。

また、田無市最後の第18代議長としてご活躍され、西東京市の誕生にご尽力されました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

3月定例会　議案の議決結果一覧

平成14年3月1日～28日
○賛成　×反対　△一部反対

	件名＼会派（）は所属議員数	自由民主党西東京市議団（8）	日本共産党西東京市議会議団（8）	西東京市議会公明党（8）	市民クラブ（6）	民主党西東京（4）	生活者ネットワーク（3）	市民の会（2）	自民自由クラブ（2）	無所属（1）	無所属（1）	結果
補正予算	一般会計予算(第3号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計予算(第3号)、下水道事業特別会計予算(第2号)、受託水道事業特別会計予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
当初予算	一般会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
	国民健康保険特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	△	○	○	可決
	下水道事業特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	受託水道事業特別会計予算、老人保健(医療)特別会計予算、介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算、駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	可決
制定条例	男女平等参画推進委員会条例、環境基本条例、特定公共物管理条例、市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害保障に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	保谷都市計画事業保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業施行に関する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
改正条例	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例、職員の育児休業等に関する条例、市税条例、コール田無条例、中小企業不況対策特別緊急事業資金融資あっせん条例、児童館条例、スポーツ振興審議会条例、非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	消防団条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	監査委員の選任につき同意を求めることについて、教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	同意
議員提出議案	多摩地域の保健所再編整備案に反対する決議、准看護師の移行教育の早期実現に関する意見書、小児救急医療制度の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	医療費値上げ反対に関する意見書	×	○	×	○	○	○	○	△	○	×	可決
	慢性肝炎、肝硬変・ヘパトームの医療費助成存続を求める意見書、鈴木宗男衆議院議員辞職を求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	30人学級の早期実施を求める意見書、児童扶養手当切り下げ措置の見直しを求める意見書	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可決
	加藤紘一衆議院議員の議員辞職を求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	△	×	×	可決
第1回　臨時会												
その他	財産の取得について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	損害賠償の額の決定についての専決処分について（2件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

意見書・決議　関係機関へ

多摩地域の保健所再編整備に反対する決議
保健医療の専門性や保有する医療知見の蓄積を有効活用するなど、重要な保健行政機関である多摩地域の現行12の保健所を、東京都が7に再編整備を推進しようとしている。これは人口規模から見て適正配置とは思われない。また、面積的に広い多摩地域において保健医療と社会福祉の連携を図るのに支障を来すため、再編整備案に反対する。

准看護師の移行教育の早期実現に関する意見書
提出先　衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣

小児救急医療制度の充実・強化を求める意見書
小児救急医療及び小児医療にかかわる社会保険診療の引き上げを図ること。第2次医療圏（平均人口35万人）に最低1カ所、24時間対応小児専門救急医療体制の早期整備を進めること。国の助成を強化すること。都道府県における小児医療の中心センターとしての中核的小児医療機関の整備を計画的に行うこと。
提出先　内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

医療費値上げ反対に関する意見書
提出先　内閣総理大臣、厚生労働大臣

慢性肝炎、肝硬変・ヘパトームの医療費助成存続を求める意見書
提出先　東京都知事

30人学級の早期実施を求める意見書
提出先　東京都知事、都教育委員会委員長

児童扶養手当切り下げ措置の見直しを求める意見書
提出先　内閣総理大臣、厚生労働大臣

鈴木宗男衆議院議員辞職を求める意見書
提出先　衆議院議長

加藤紘一衆議院議員の議員辞職を求める意見書
提出先　衆議院議長

人事

（3月28日同意）

監査委員
西河勇夫氏
教育委員会委員
井口範之氏

請願・陳情の結果

（　）は付託委員会

採択されたもの

○市内循環コミュニティバスのルート拡充を求める陳情（交通対策）
○天神山交差点交通安全に関する請願（建設）
○市道た38号線の拡幅に関する請願（建設）
○住吉町第三公園を安心して利用のできる公園とすることを求める請願（建設）
○医療費値上げ反対に関する請願（厚生）
○准看護婦に対する看護婦への移行教育早期実施に向けての意見書提出に関する陳情（厚生）
○「（仮称）西東京市女性センター」を設置することについての陳情（厚生）

不採択となったもの

○田無庁舎、情報公開コーナー設置計画案中のエスカレーターを階段に変更することを求める陳情（総務）
○西東京市役所田無庁舎改築案の見直しを求める陳情（総務）
○どの子にも基礎的な学力と豊かな人間性をはぐくむ教育を保障するために30人学級の実現を求める請願（文教）
○文化・スポーツ振興財団の経営改善を求める陳情（厚生）
○医療費値上げに関する陳情（厚生）

継続審査となったもの

○西東京市長選挙不正疑惑解明に関する陳情（総務）
○向台小4年3組児童及び教職員の緊急時避難路の見直しを求める請願（文教）
○下野谷縄文遺跡の保存・活用を求める陳情（文教）
○田無村穀櫃の復元を求める陳情（文教）
○普通学級に通う障がい児の介助についての陳情（文教）
○障害者自立・社会参加支援センター設立に関する陳情（厚生）
○「合併記念公園は、障害者が高齢の方々の知識と経験をかりて働く場としたい」に関する陳情（公園緑地）
○住宅リフォームの5％助成に関する請願（建設）
○スクールゾーン交通安全に関する陳情（建設）
○容器包装リサイクル法の完全実施のため、ストックヤードの早期設置を求める陳情（建設）
○都道112号線北原交差点開通を求める陳情（建設）
○外環の完成を前提にした調布保谷線の環境影響評価のやり直しを求める陳情（建設）
○ごみ問題に関する陳情（建設）
○「市道た12号線の歩道工事について」に関する陳情（建設）
○廃プラスチックの容器包装リサイクル法による処理を定めた分別収集計画の提出を求める陳情（建設）
○西東京市泉町五丁目付近の道路工事・排水に関する陳情（建設）
○東伏見駅にエレベーター・エスカレーターの設置と車いすの障害者も利用できるトイレの設置を求める陳情（建設）
○陳情・請願者の趣旨説明に関する陳情（議運）

取り下げ

○国医報酬・校医報酬に関する請願

後編集記

本議会では、新市になって初めての通年予算を議決しました。
5月1日よりスタート予定であった公共施設予約システムについては、「住民への説明が不十分だ」との議会の指摘で延期することになりました。
「議会だより」は年4回発行していますが、議会の様子がおわかりいただけますでしょうか。
ご意見、ご要望をぜひお寄せください。

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています